

2024年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月26日

上場会社名 アクモス株式会社
コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理部長
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5539-8800
(氏名) 飯島 秀幸
(氏名) 末國 真一

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第3四半期の連結業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	4,773	11.7	617	13.6	616	7.8	397	7.5
2023年6月期第3四半期	4,272	24.6	543	46.8	571	54.1	369	65.4

(注) 包括利益 2024年6月期第3四半期 411百万円 (7.2%) 2023年6月期第3四半期 384百万円 (72.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	40.50	
2023年6月期第3四半期	37.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	5,374	3,430	58.4
2023年6月期	5,113	3,091	55.5

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 3,138百万円 2023年6月期 2,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期		0.00		13.00	13.00
2024年6月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	5.7	710	9.3	700	3.3	460	9.7	46.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社プライムシステム
デザイン、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年6月期3Q	10,215,400 株	2023年6月期	10,215,400 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年6月期3Q	352,843 株	2023年6月期	425,343 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年6月期3Q	9,822,220 株	2023年6月期3Q	9,782,239 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2024年3月31日、以下「当四半期」という。)におけるわが国経済は、米国を中心に海外景気の下ぶれリスクが後退していることや、国内企業の設備投資意欲が堅調である反面、世界的な物価上昇の影響や内需の停滞傾向により先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業を取り巻く環境は、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進などの情報化投資が見込まれております。当社グループは「社是」である”挑戦する心”のもと、「進化」をテーマとし、Business(事業)、Members(人財)、Value(付加価値)3つの分野でGoodに挑戦し、外部環境に左右されない成長企業への進化を目指します。成長領域の軸をセキュリティからクラウドに拡大し、お客様のニーズに対応する最適なICTサービスを提供してまいります。

当社では、2024年6月期より、当社連結の親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向を従来の30%以上から50%以上を目標とすることに変更いたしました。目標とする配当性向を変更することにより、中長期にわたって株主の皆様に対する利益を還元する姿勢を明確にし、充実を図ってまいります。

事業投資においては、人財及び設備への投資促進と首都圏でのM&Aの推進に取り組んでおります。当社ではエンジニア職の新卒採用社員に対する1年間の研修期間を設けるほか、職位に応じた研修を実施し人財育成に取り組んでおります。また、消防防災ソリューション事業の拡大に合わせて茨城県東海村の自社敷地内に消防防災システムの開発拠点として建設していた新棟は、本年4月より業務を開始しております。M&Aでは、2023年12月21日付で株式会社プライムシステムデザインの株式取得にかかる株式譲渡契約を締結し、2024年1月11日付で同社の発行済株式の80%を取得し子会社化いたしました。同社は当四半期末より連結開始となり、損益計算書の取込は、3月決算のため当社の決算期と3ヶ月ずれていることにより2024年6月期第4四半期連結会計期間からを予定しております。また、当社は茨城県教育庁と企業版ふるさと納税(人材派遣型)を活用した人事交流協定書の締結をおこない、システムエンジニア1名を派遣することとなりました。

当四半期の売上高は4,773百万円(前四半期は4,272百万円、前四半期比11.7%増)、営業利益は617百万円(前四半期は543百万円、前四半期比13.6%増)、経常利益616百万円(前四半期は571百万円、前四半期比7.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は397百万円(前四半期は369百万円、前四半期比7.5%増)となりました。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(ITソリューション)

ITソリューション事業では、既存のお客様に対する営業の深耕や、メーカーの戦略パートナー認定に伴う業容拡大により売上が伸長しました。基幹システムの構築や航空宇宙分野、地方自治体のDX推進に係る案件やメーカーからの開発案件、GISソリューションでの官公庁の調査業務に係る案件の納品などにより堅調に推移しております。消防防災システムでは、消防通信指令システムが2つの消防本部で本稼働となりました。当四半期の売上高は2,964百万円(前四半期は2,384百万円、前四半期比24.3%増)、営業利益は420百万円(前四半期は263百万円、前四半期比59.6%増)となりました。

(ITインフラ)

ITインフラ事業では、既存案件や前期に完了した地方自治体のテレワーク環境整備を含むネットワーク構築などの運用案件に加えて、地方自治体における基幹システムのネットワーク構築や研究機関の機器更新案件など、クラウド化及びセキュリティ強化の需要を捉えて着実に受注しており、構築、運用のほか機器更新の売上により堅調に推移しました。当四半期の売上高は813百万円(前四半期は674百万円、前四半期比20.6%増)、営業利益は166百万円(前四半期は156百万円、前四半期比6.3%増)となりました。

(ITサービス)

ITサービス事業は前四半期に対し減収減益となりました。特に為替変動によるお客様の在庫調整の影響を受けた第三者保守サービスのシステム販売・修理では、需要の回復が遅れております。リファビッシュ機を活用したシステムリプレイスや、レガシーシステムのソフトウェアエミュレーターのプロモーションを進めるとともに、ネットワーク構築案件の営業に重点をおき今後の取り組みに注力しております。

ITサービス事業全般において受注の減少を受け、当四半期の売上高は1,010百万円(前四半期は1,213百万円、前四半期比16.8%減)、営業利益は66百万円(前四半期は159百万円、前四半期比58.2%減)となりました。

※上記において前第3四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2023年3月31日)は、「前四半期」と表記しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当四半期末の総資産は前連結会計年度末から260百万円増加し5,374百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加1,088百万円、有形固定資産の増加45百万円、のれんの増加192百万円の方、現金及び預金の減少1,046百万円、仕掛品の減少55百万円があったことによるものです。なお、増加したのれんは株式会社プライムシステムデザインの新規連結に伴い発生したものです。

(負債)

当四半期末の負債は前連結会計年度末から78百万円減少し1,943百万円となりました。これは主に、未払費用の減少284百万円、未払法人税等の減少61百万円、前受金の減少70百万円の方、買掛金の増加166百万円、短期借入金の増加50百万円、賞与引当金の増加133百万円があったことによるものです。

(純資産)

当四半期末の純資産は前連結会計年度末から339百万円増加し3,430百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益397百万円、資本剰余金の増加23百万円、非支配株主持分の増加37百万円の方、配当金の支払い127百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年8月8日付の「2023年6月期決算短信」にて公表いたしました2024年6月期の業績予想に変更はありません。今後公表すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

業績予想は、入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,125,600	2,078,972
受取手形及び売掛金	799,046	1,887,983
商品	346,068	367,686
仕掛品	100,361	44,615
その他	76,084	120,276
貸倒引当金	△619	△786
流動資産合計	4,446,541	4,498,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	280,125	356,060
減価償却累計額	△174,170	△181,122
建物及び構築物（純額）	105,954	174,938
工具、器具及び備品	224,394	231,002
減価償却累計額	△175,230	△181,737
工具、器具及び備品（純額）	49,163	49,264
土地	68,836	68,836
その他	24,100	681
有形固定資産合計	248,054	293,720
無形固定資産		
のれん	15,108	207,691
ソフトウェア	54,735	49,201
その他	9,507	2,340
無形固定資産合計	79,352	259,233
投資その他の資産		
投資有価証券	29,309	45,501
繰延税金資産	134,975	119,569
その他	175,364	157,804
投資その他の資産合計	339,649	322,875
固定資産合計	667,056	875,829
資産合計	5,113,598	5,374,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	209,355	375,731
短期借入金	135,000	185,000
1年内返済予定の長期借入金	62,400	75,960
未払金	271,569	262,600
未払費用	457,821	173,455
未払法人税等	165,509	103,960
賞与引当金	41,030	174,987
アフターコスト引当金	26,166	23,400
その他	240,939	191,042
流動負債合計	1,609,792	1,566,138
固定負債		
長期借入金	375,200	344,684
その他	37,181	33,021
固定負債合計	412,381	377,705
負債合計	2,022,174	1,943,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	693,250	693,250
資本剰余金	1,196,258	1,219,291
利益剰余金	991,586	1,262,102
自己株式	△44,367	△36,804
株主資本合計	2,836,728	3,137,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56	495
その他の包括利益累計額合計	△56	495
非支配株主持分	254,752	292,396
純資産合計	3,091,423	3,430,732
負債純資産合計	5,113,598	5,374,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年7月1日 至2024年3月31日)
売上高	4,272,251	4,773,615
売上原価	2,634,943	3,025,929
売上総利益	1,637,308	1,747,685
販売費及び一般管理費	1,093,948	1,130,431
営業利益	543,359	617,253
営業外収益		
受取利息及び配当金	203	255
為替差益	—	1,115
保険解約返戻金	33,202	—
その他	2,732	2,816
営業外収益合計	36,138	4,186
営業外費用		
支払利息	4,610	4,061
為替差損	2,897	—
その他	4	876
営業外費用合計	7,512	4,938
経常利益	571,985	616,501
特別損失		
事務所移転費用	5,210	—
その他	147	—
特別損失合計	5,357	—
税金等調整前四半期純利益	566,628	616,501
法人税、住民税及び事業税	184,288	189,841
法人税等調整額	△1,649	15,367
法人税等合計	182,638	205,208
四半期純利益	383,989	411,293
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,097	13,506
親会社株主に帰属する四半期純利益	369,892	397,787

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	383,989	411,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	552
その他の包括利益合計	166	552
四半期包括利益	384,155	411,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,058	398,339
非支配株主に係る四半期包括利益	14,097	13,506

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITインフラ事業	ITサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,384,157	674,692	1,213,401	4,272,251	—	4,272,251
外部顧客への売上高	2,384,157	674,692	1,213,401	4,272,251	—	4,272,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	456	—	159	615	△615	—
計	2,384,613	674,692	1,213,561	4,272,867	△615	4,272,251
セグメント利益	263,680	156,508	159,844	580,034	△36,674	543,359

(注) 1 セグメント利益の調整額△36,674千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△34,240千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	ITソリューション事業	ITインフラ事業	ITサービス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,952,876	811,309	1,009,429	4,773,615	—	4,773,615
外部顧客への売上高	2,952,876	811,309	1,009,429	4,773,615	—	4,773,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,031	2,500	661	15,192	△15,192	—
計	2,964,907	813,809	1,010,090	4,788,808	△15,192	4,773,615
セグメント利益	420,903	166,352	66,872	654,128	△36,875	617,253

(注) 1 セグメント利益の調整額△36,875千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△36,940千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の上場維持に係る費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ITソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社プライムシステムデザインを当社の連結子会社としたことに伴い、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は当第3四半期連結累計期間においては、193,842千円であります。